

JTC あしでもゲートⅡ

取扱説明書

この取扱説明書は「あしでもゲートⅡ」についての取扱い上の注意点について書いてあります。ご使用前に必ずお読み下さい。また、読まれた後は大切に保管して下さい。

この度は「あしでもゲートⅡ」をお買上げ賜り、誠にありがとうございます。
「あしでもゲートⅡ」は、動き盛りの赤ちゃんの安全な活動を願って、家の中の危険な場所（階段・台所・浴室など）から赤ちゃんを安全に守ってあげるために開発した安全設計の乳幼児用移動防止柵です。
当社は赤ちゃんの健やかな成長を願って、きめ細かな心くばりによる設計、製品作りに取り組んでおります。赤ちゃんの健やかな成長とともに、当製品を永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

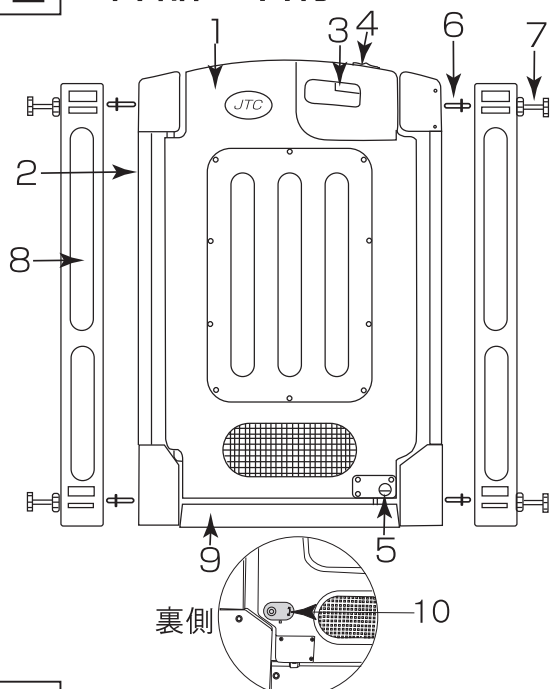
ベビーゲートは生後24カ月以内の乳幼児に使用する「家庭用の乳幼児用移動防止柵」として開発したものです。赤ちゃんのために下記の注意事項を必ずお守りいただき、正しくご使用下さい。

 **注意** （ この注意事項を守らなければ、傷害を負うか
または物的損害が生じる可能性があります。 ）

1 安全にご使用していただくためのご注意

1. 「取り付け方法」の寸法を参考にして、ご使用場所に合わせて取り付けして下さい。
2. 本製品の取り付けに際しては、手・指などを挟まないよう十分ご注意ください。
3. 本製品の取り付け・取り外しは保護者の方が行って下さい。
4. 本製品が下記の通り、完全に取り付けられているかを必ずご確認ください。
 - ①左右4カ所の調節ボルトの先ゴム部が壁や柱などに隙間なく、またはみ出ることなくしっかりと接しているかを確認して下さい。
 - ②左・右支柱とサイドパネルが確実にジョイントされているかを確認して下さい。
 - ③ベース下面が床に接していることを確認して下さい。
 - ④最後に扉を持って、前後左右に揺すって、本体が外れないかを確認して下さい。
5. 縁側の降り口やガラス戸の近くなど本製品が外れた場合危険だと思われる場所には設置しないで下さい。
階段の降り口（フロア・廊下等の床面）に取り付ける場合は必ず付属の「階段取付用アダプター」をご使用下さい。
また、取り付けられる場合は取扱説明書の「階段降り口（階上側）」でご使用になる場合の注意事項を必ずお守り下さい。
危険ですので階段の途中には絶対に取り付けしないで下さい。
「階段取付用アダプター」をご使用にならない場合は階段降り口への取り付けはおやめ下さい。
6. 取り付け場所の強度を確認して下さい。（壁面が弱い場合ご使用いただけません。また、壁紙などが剥がれたり壁面がたわんだりへこんだりする場合がありますのでご注意ください。）
7. ストープなど火の近く、雨ざらしになるような場所には取り付けしないで下さい。
8. 本製品のそばに、踏み台になるようなものを置かないで下さい。
9. 本製品にぶら下がったり、寄りかかったり、よじ登ったり絶対にしないで下さい。
10. 本製品の扉の格子部・支柱と扉の隙間・本体と壁柱の隙間にお子様の手や足を突っ込まないようにご注意ください。
11. 保護者の方は、本製品を使用しても、お子様の動作状況には十分注意をして下さい。
12. ダブルロックは必ず掛けてご使用下さい。またロックを掛ける時は扉が閉まっていることを必ず確認して下さい。
13. 本製品の取り付けにより、壁や壁紙が破損する場合があります。その様な危険性がある場合は取り付けを中止して下さい。
14. 本製品を開閉する時は、近くにお子様がいなかったことを確認して行って下さい。お子様が手や指を挟む危険があります。
15. 本製品は自動で扉が閉まるようになっておりますが、扉を開いた後は扉が確実に閉まっているかを確認しダブルロックを掛けて下さい。
16. 長期間の使用による部品等の劣化・破損などの恐れがあります。その場合はただちに使用を中止して下さい。
17. 使用状況により調節ボルトがゆるんでくる場合があります。本製品がしっかりと固定されているか常に確認し、必要に応じて調節ボルトを増し締めして下さい。
18. 本製品を改造してのご使用や部品の代用は破損や事故の原因となりますのでおやめ下さい。

2 部品の名称



- ゲート本体 × 1
- 1. 扉パネル
 - 2. 本体支柱
 - 3. ロックレバー
 - 4. ダブルロック
 - 5. フットレバー
 - 10. 扉片開きストッパー
 - 6. パネルジョイント×4
 - 7. 調節ボルト × 4
 - 8. サイドパネル × 2
 - 9. スロープ × 2

付属部品

- 1. 階段取付用アダプター 4個
- 2. 石膏クギセット × 8セット 1袋
- 3. 固定ビス 8本
- 4. 両面テープ 4枚

⚠ 注意

製品は下部の幅より上部の幅が広くなるように組み立ててあります。これは取り付け時に、より強度を増すために工夫したもので、決して製品の異常ではありません。

3 取り付け方法

使用場所の内々寸法に合わせて、組み立て形状を決めて下さい。

組立使用例



注意 階段取付用アダプターを使用した場合、取付サイズが違いますのでご注意下さい。

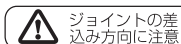
① 本体のみ 69～79cm	② 本体+サイドパネル 1 枚使用 78～88cm	③ 本体+サイドパネル 2 枚使用 87～97cm
「階段取付用アダプター」を使用して階段降り口(階上側)に取付ける場合		
71～81cm	80～90cm	89～99cm

4 取り付け手順



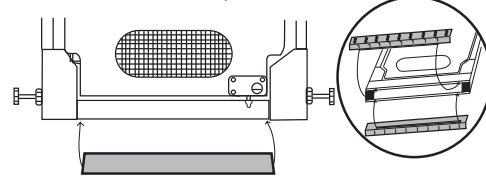
注意 必ずフットレバーが赤ちゃんのいる場所の反対側になるように取り付けて下さい。

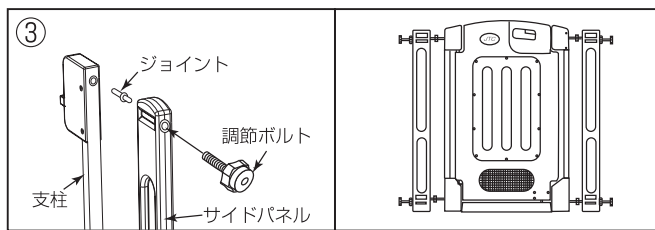
- ① 取付ける場所のサイズに合わせて、サイドパネルを取付けて下さい。まずサイドパネルにジョイントを差込み、それを本体支柱穴に差込んで下さい。



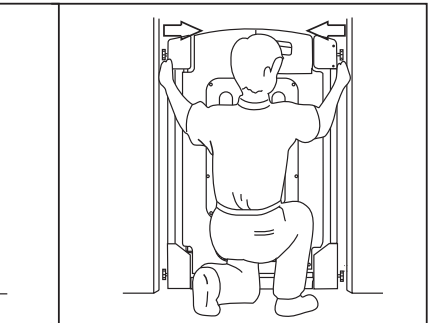
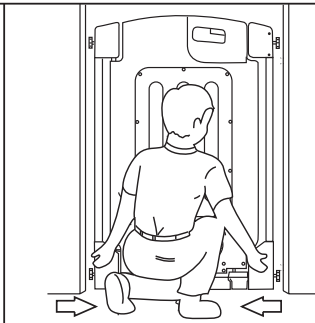
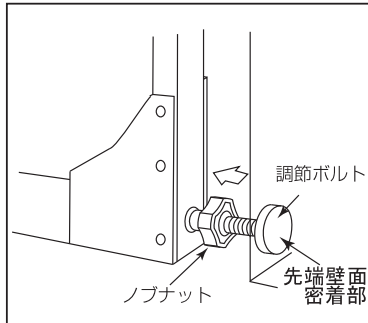
長い 短い
ジョイントは本体側に長い方、パネル側に短い方を差込んで下さい。

- ② スロープを本体ベース底部裏側の溝に差込んでください。





③サイドパネルの上下の穴にジョイントを差込み、ジョイントのもう片方を本体支柱の上下の穴に差込んでください。サイドパネルの外側の穴に、調節ボルトを差込んで下さい。サイドパネルが必要な場合は、調節ボルトを本体支柱の上下の穴に直接差込んで下さい。

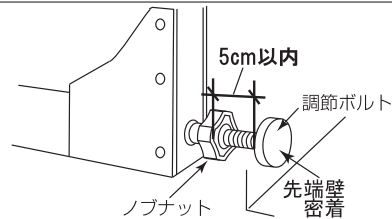


- ④取り付ける場所にゲートをセットして下側の調節ボルトを締め付けた後、上側を締め付けて下さい。
調節ボルトのノブナットを回し、調節ボルトを伸ばすことにより、左右につっぱり、ゲートを固定します。
ロック部の扉部と支柱部のすき間を、5mm以内に調節して下さい。
すき間が広すぎると、ロックが掛からなくなります。
- ⑤ゲートを前後に揺すってみてグラツキがないかを確認して下さい。
- ⑥壁面の壁紙が破損する場合があります。ご注意下さい。

注:本体にはボルト受けのナットは有りません。

調節ボルトは、本体穴あるいはパネル穴に差込むだけです。後は、ノブナットを回すと、先端壁面密着部が外側にせり出てきます。

注意 取り付けるとき調節ボルトの長さが5cm以内になるように取り付けして下さい。



当たりゴム

柱面

壁面

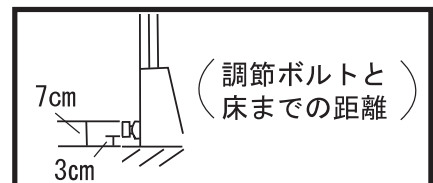
注意

斜めに取付けますと外れやすくなりますので取付面に対して本体が直角に当たるように取付けて下さい。
壁面が綿壁のような弱い壁の場合は、取付けが出来ません。
壁紙がはがれる場合があります。新築のご家庭の場合は特にご注意下さい。

注意

支柱は床に対して垂直になるように注意して取付けて下さい。
特に扉側の支柱は確実に垂直に取付けて下さい。
また前後に対しても、垂直に取付けて下さい。片側が勢い良く閉まったり、片側が自動で閉まらなかったりという不具合の原因になります。

注意 取り付け場所に幅木がある場合（幅木の高さが3cm以上7cm未満）など製品をしっかりと取り付けできない場合がございます。その場合使用を中止して下さい。



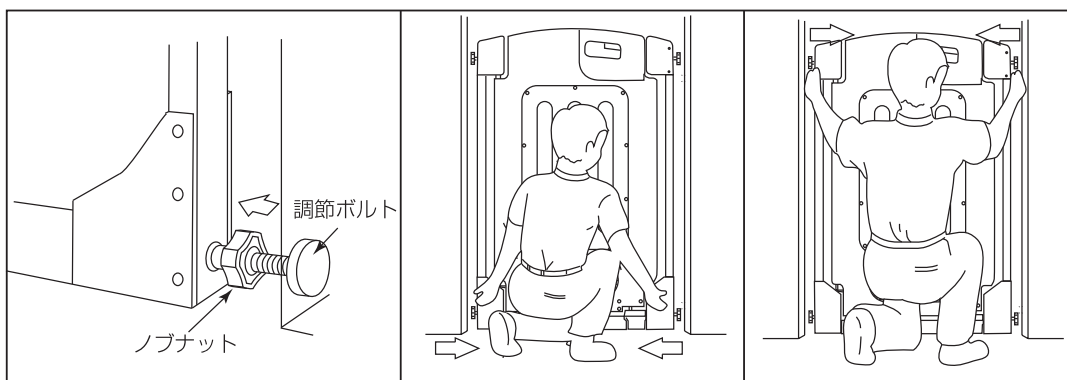
階段降り口(階上側)でご使用になる場合

⚠ 注意 以下のことを必ずお守り下さい。

- 1.必ず付属の階段用取付アダプターをご使用下さい。
- 2.取り付ける場所の壁や柱の強度をご確認下さい。
強度の弱いところではご使用にならないで下さい。
- 3.階段の降り口からできるだけ遠ざけて取り付けて下さい。
- 4.固定ビス、石膏クギ、両面テープを使用しますので、壁や柱にキズや汚れ、穴があきますのでご了承下さい。
- 5.階段途中では取り付けしないで下さい。
- 6.本体がしっかり取り付けられているか、必ず確認して下さい。
- 7.階段用取付部品には小さな部品があります。お子様が決して口に入れないよう十分注意して下さい。また、使用しない場合は、お子様の手の届かない所に保管して下さい。

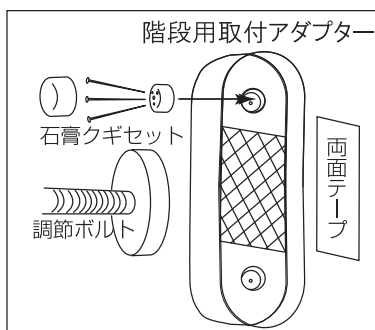
取付方法

- ①取り付け場所の寸法に合わせて、組立形状をこの取扱説明書の2ページの組立使用例をもとに決めて下さい。
- ②取り付け場所にゲートをセットして、下側の調節ボルトを締め付けた後、上側を締め付けて下さい。



- ③調節ボルトの当たりゴムと壁が接する場所（4カ所）を確認し、一度ゲートははずして下さい。
- ④確認した調節ボルトと壁が接する場所（4カ所）の壁側に、階段用取付アダプターを取り付けて下さい。

取付場所の壁が石膏ボードの場合は、石膏クギと両面テープをご使用下さい。
柱の場合は、固定ビスと両面テープをご使用下さい。



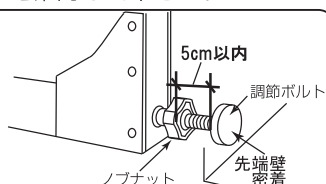
⚠ 注意

階段用取付アダプターの縁の長い方を階段の降り口側にして取り付けして下さい。
アダプターの取り付け向きにご注意下さい。
イラストと同じ向きに取り付けて下さい。

- ⑤ゲートを前後に揺すってみて、ぐらつきがないかを確認して下さい。



取り付け時、調節ボルトの長さが5cm以内になるように取り付けして下さい。

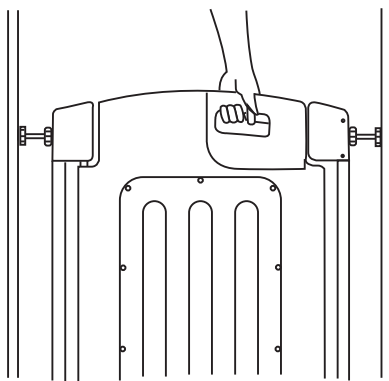


5 扉の開き方・ダブルロック

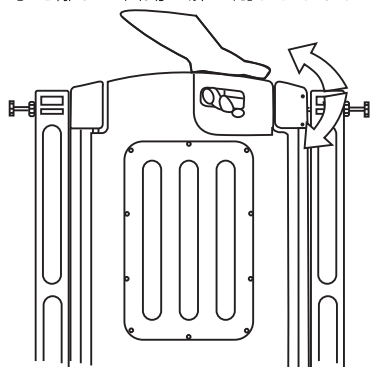
①扉を開けるときは扉の上部にある
ダブルロックを解除して下さい。



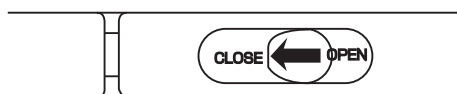
②オープンレバーを握って扉を開けて下さい。



③扉は両側に開くことができます。
扉から手を離すと自動で扉は閉まります。



④扉を閉めているときは必ず扉の上部にある
ダブルロックをかけて下さい。
※ダブルロックを掛けている時は、オープン
レバーを握っても、フットレバーを足で上
げても、扉は開きません。



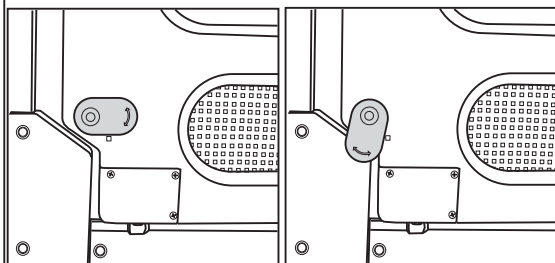
注意

扉は自動で閉まるように設計してありますが、取付場所により、自動で閉まらない場合があります。出入りする場合は必ず、扉が完全に閉まったことを確認して下さい。

6 扉片開き用ストッパー

階段降り口（階上側）に本製品を取付けられる時は、扉下部に取付けてあります「片開き用扉ストッパー」を掛けていただき、階段側に扉が開かないようにしてご使用下さい。

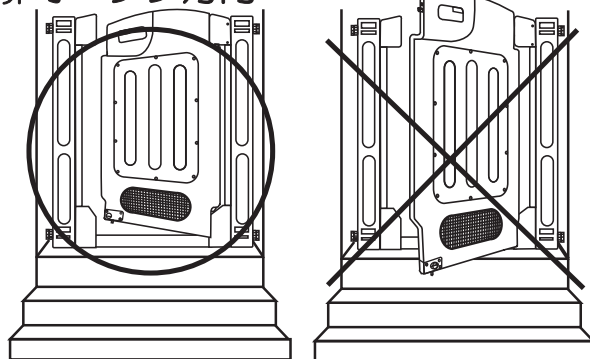
片開き用ストッパー切り替え



ストッパー-OFF

ストッパー-ON

扉オープン方向



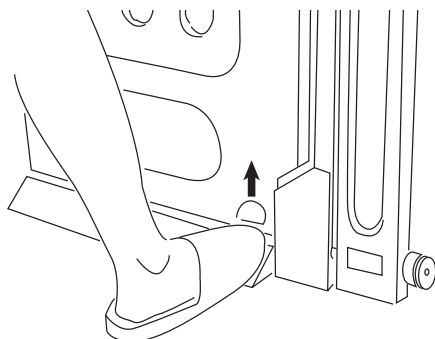
廊下側への扉オープンがOK。 階段側への扉オープンは不可。

7 足で扉を開ける場合

①ダブルロックを解除して下さい。

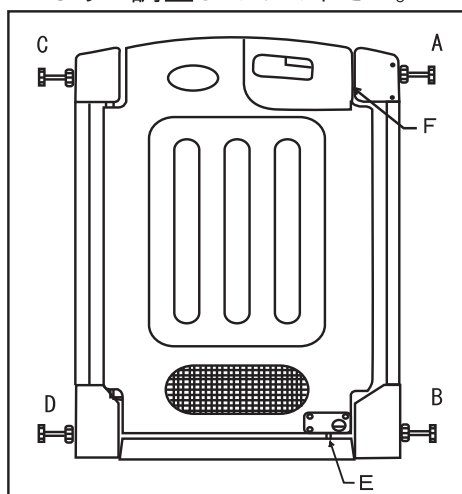


②扉の下部のフットレバーを足で上げて、扉を開けて下さい。



8 扉がオートクローズしにくい時

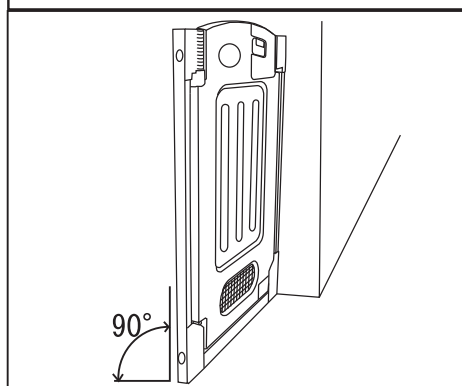
取扱説明書に従いゲートを取り付けた後に、扉がオートクローズしにくい場合、下記のように調整してみてください。



Cの調節ボルトの調節幅が短いと、オートクローズしない場合があります。その場合は、Cの調節ボルトの調節幅を長くして下さい。

Cの調節ボルトの調節幅が長すぎると、F部のロックの位置が合わなかったり、E位置のピンがベースフレームに接触してしまい、ロックが掛からない場合があります。

ABとCDの調節ボルトの長さが等しくなるように調整していただくことが基本となりますが、どうしてもうまく作動しない時は、ABの長さよりCDの長さを短くしてみてください。そうすることでうまく作動することがありますので試してみてください。



片側が勢いよく閉まって、反対側が閉まりにくい場合は地面(床)に対して垂直に取付けられていない可能性があります。垂直に取付けられているかをご確認下さい。



注意

長く使っていると、扉がオートクローズしなくなる場合があります。その場合は、再度扉の垂直調整をしていただくと共に、扉の支柱となる部分上下に、ホームセンターなどで市販されている潤滑油(シリコン)等をさしていただければ、扉はスムーズに開閉するようになります。

製造物責任保険について

弊社は、すべての弊社製品の品質については絶対の自信を持っておりますが、消費者の皆様が正常に使用されておられたときに、万一製品の欠陥により事故が発生し、皆様の身体に損害をおかけした場合、その損害を補償するため、保険会社と提携して「製造物責任保険」の契約をしております。万一事故が発生した場合は、直ちに弊社にご連絡ください。